

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.122

【発行】千葉県テレビ伝道協力会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2  
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」  
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072  
E-mail: [info@chiba.life-line.tv](mailto:info@chiba.life-line.tv)  
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>  
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
2-1 OCCビル  
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650  
E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)  
ホームページ <http://www.pba-net.com>  
でんわ世の光 03-3291-9061

### 「目を覚ましましょう！」

日本ナザレン教団 千葉キリスト教会牧師 森 稔

「ライフ・ライン」の重要性を特に強く実感する秋が深まります。今、必要な番組がTVを窓口として至るところに届けられているのですから、製作の方にも更に期待しています。

大船渡の山浦玄嗣ドクターは、聖書をケセン語に翻訳、出版している土着の学者ですが、「水は見えないのに瓦礫の壁が押し寄せてくる。黒煙が上がっている。みんなを逃がそう！と、指示し、家の2階にいる奥さんのところに駆け上がると、途端に「ザーッ」と、滝のような音がして、目の前が海のようになり、あらゆるものが流されてきた。」と、舞台俳優のような堂々たるバリトンで語っておられました。

3.11は消えることのない衝撃となってみんなの記憶に残っていますが、M9の大震災、続く未曾有の大津波、それらに破壊されて瓦礫となった町や村が津波火災で大炎上する恐怖に加えて、福島原発が水浸しになり、機能不全に陥り、水素爆発を連続して起こし、海にも陸にも放射能災害を8ヶ月に渡り振り撒いているうちに大雨台風が襲来、2011年が日本列島大災害の年となってしまいました。もともと世界大不況の真っ最中でしたし、政局不安定で、お遍路首相の迷走から泥鯱内閣誕生、万事が後手後手にまわる2011年です。

今こそ悔い改めて、人間は人間であって、神ではないことを弁える好機です。そこにこそ生の可能性が生まれます。その限界を踏み越えることは、人類の死を意味するのではないのでしょうか。

お茶の間に福音！

毎週土曜朝7時は、**千葉テレビ「ライフ・ライン」**でお楽しみ下さい。